



はじめまして。私、<sup>むくの すいこ</sup>向野 穂子は、5月24日よりレストア横浜に療養部長として着任いたしました。

介護老人保健施設は、ご自宅でこれまで通りの日常生活を過ごすことが困難になった要介護の高齢者の方に、住み慣れた家で家族の絆を保ちながら安心して自立した生活を再び送るための支援を目的とした施設です。入所していただいた後は施設サービス計画に基づいて、看護・医学的管理下における介護及び機能訓練、その他必要な日常生活上の支援、在宅復帰のための生活の調整を行います。そしてこれらを円滑に実施するために、多数の専門職員が共同でケアに取り組んでおります。

その中でも療養部は看護職員と介護職員、介護支援専門員(ケアマネージャー)という複数の職種からなりつつも、いかなる時も利用者様ご本人の意思を言語・非言語コミュニケーションを通して汲み取りながら検討を重ね、その意思決定を支えていくことが必要とされます。それを果たすため、それぞれの職種がお互いの専門性を尊重し、その専門性を認め合ったより綿密なコミュニケーションを取るよう部内で徹底して参ります。

また、療養部はその性質上、利用者様と最も長い時間関わることになり、その今後について検討する際に、そこで得られた情報を他部署と共有し、連携するための調整役となることも求められてきます。私はこれから、そうした役割を持つ療養部の代表として、レストア横浜の全体像を捉え、施設内におけるより連携が強化されるよう業務に携わっていきたいと思います。皆様にはまだまだご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうか今後ともよろしく願いたします。

<sup>むくの すいこ</sup>  
療養部長 向野 穂子





# 倉田サンシャインフラザース 演奏会



5/14に通所リハビリにボランティアとして、バンド「倉田サンシャインフラザース」が来所しました。「ウォーターメロンマン」「オールオブミー」といったジャズから、「真っ赤な太陽」「星降る街角」などの歌謡曲、さらに「天城超え」「津軽平野」などの演歌まで、幅広いジャンルの往年の名曲を演奏していただきました。



## しょうぶ湯



各フロアにて5/2～5/9に『しょうぶ湯』を提供しました。しょうぶ湯は元々、端午の節句の時期に花が咲き、またその香りの強さから邪気を払う薬草とされていたしょうぶを浮かべた湯に入ることによって無病息災を祈願する風習でした。現在では、「腰痛」「神経痛」「冷え症」「筋肉痛」「リュウマチ」「肩こり」といった症状に効くことに加え「血行促進」「保温」「リラックス」等の効果があるとされ、実際の健康面でも有効であることがわかっています。

## 6/6・6/10 手洗い研修



職員向けの手洗い研修では、手にクリームを塗って洗い残している部分を知り、どこを気を付けて洗えばいいかを学びました。

## 施設内研修 5/25 防災訓練



レストア横浜では年二回、防災訓練を実施しています。今回はその一回目として、通報訓練や消火訓練を行いました。災害時に皆様をお守りするため、全員本番のつもりで取り組みました。



今年度最初の広報誌をお届けします。行事・広報委員会は新たなメンバーで、心機一転、前年度を超えるより楽しい行事や広報誌を皆様に提供させていただき所存です。また、8/12(金)には今年も納涼祭を予定しております。至らぬ点もあるかと思いますが、1年間お付き合いいただければ幸いです。

行事・広報委員一同